



『信心決定』

世間では、「決定」と読みますが、浄土真宗では「決定」と読みます。読み方は違いますが、意味はおなじです。決まる、定まると書くように、信心が決まるということ、ハッキリするということです。

この「信心決定」の漢字四文字は、浄土真宗で最も大事な、最も重い言葉です。蓮如上人は、御文に「一日も片時も急ぎて信心決定しなさい」と勧められています。蓮如上人はご遺言に「皆々信心決定あれかし」と朝夕思い続けていると書き残されています。これは皆さんにお伝えしたいことは、これ一つだ、信心決定してもらいたい、ということ

とです。なぜ一日も早く信心決定しなければいけないのかというと、蓮如上人は、こう言われています。「信心を決定せず、今度の報土の往生は不定なり」

「報土」とは、極楽浄土のことです。信心決定しなければ、死んで極楽へ往くことはできない、ということとです。

このことを親鸞聖人は、このように言われています。「賢愚えらばず、緇素をえらばず、修行の久近を論ぜず、造罪の重軽を問わず、ただ信心を決定せしむれば、すなわちこれ往生の因種なり。」

「往生」とは極楽に往つて仏に生まれることです。極楽に往つて仏に生まれるためには、賢いか愚かかということではありません。

親鸞聖人は、私たちが生きているのは、信心決定するためなのだ教えられています。信心決定するために生まれてきたのであり、信心決定することこそが、生きる意味なのです。

信心決定するには、本願を聞いて、阿弥陀仏の心を頂かなければなりません。他力の信心を戴くことで、

その信心を「獲得」するのです。蓮如上人は御文の中で『信心獲得するというのは第十八の願の心なり』と、生きている内は幸せな生活をして、死んで極楽浄土で無上の悟りを開くことです。(色紙) ※毎年書いておりました住職の新春の色紙は、住職交代の為、今年の「信心決定」で最後となります。



ひとりごと その一

先日、コンビニのセルフレジに「現金は使えませんが」の注意書きを見つけた。「カード使えません」はよく見かけるが、ついに、また一つ時代の転換期を迎えようとしている。

二〇二四年頃から新紙幣の導入が始まるようだが、その顔ぶれは正に今の時代の転換を感じさせる人選となっていた。

実体経済とは少し乖離しているようにも感じるが、バブル期に迫る株価上昇の兆しが見える中、新一万円札に日本経済の父と呼ばれる渋沢栄一。

東京五輪組織委員での女性蔑視発言を受け会長交代があった中、新五千円札に女性活躍を願い、女子教育の礎を築いた津田梅子。

新型コロナウイルスが世界に猛威をふるう中、新千円札に日本の感染症・細菌学の父、北里柴三郎が共に選ばれている。

そんな中、今年のNHKの大河ドラマは、渋沢栄一がモデルとなり、初回から高視聴率を叩き出している様なので、ご覧になっている方も多いのではないだろうか。

初回冒頭に徳川十五代将

軍・徳川慶喜ではなく、徳川家康が出て来たところには驚いたが、江戸時代から明治にかけての流れの中で徳川家、またこの徳川家康も重要なキーマンとなるのだろうか。

ドラマの中で、少年時代の渋沢栄一が、父に叱られるシーンで

『人の一生は重荷を負うて遠き道を行くがごとし。急ぐべからず。』

不自由を常と思えば不足なし。ここに望みおこらば困窮したる時を思いだすべし。

堪忍は無事長久の基、いかりは敵とおもへ。勝つ事はかり知りて、負ける事をしらざれば害その身にいた

る。

おのれを責て人をせめるな。及ばざるは過ぎたるよりまされり。』

と、有名な徳川家康の遺訓を引用し、話をしていた。

東本願寺と深い関係にある、徳川家康の遺訓に触れながら、忙しなく変わり続ける時代の中で、普遍的な人が持つ心、また心の拠所である宗教について、今号より話を展開していこうと思います。



おみがきのお手伝い

3月12日(金)
午前9時より

春彼岸をきれいな仏具でお迎えしましょう。
お忙しい中誠に恐縮ですが、お手伝い宜しくお願いします。

花まつり・誕生会 中止のお知らせ



例年五月の第二土曜日に開催していましたが、

花まつり・誕生会は新型コロナウイルス感染

拡大防止の為、中止とさせていただきます。

春彼岸法要

春彼岸は三月十七日から

二十三日の一週間にわたり

午後一時よりお勤めが始ま

ります。

三月二十日(彼岸の中日)

には、十二時半より第二浄

蓮堂本尊前にて夫婦・個人

壇の永代経法要が又十三時

より本堂にて特別永代経法

要が厳修されます。

新型コロナウイルス対策として入

口での消毒をお願い致します

す。

また本堂の席は間隔を開

け設置させて頂いております

す。皆様のご理解ご協力よ

ろしくお願い致します。

春彼岸の布教使様は

竹園 保 氏です。

どうぞ御家族お揃いで御

焼香・御聴聞下さい。

婦人会だより

○婦人会費

年 二五〇〇円

年四回、小冊子『さくら』

を配布しています。

新会員の参加をお待ち申

し上げます。



重要なお知らせ

◎増税に伴ない郵便振込用

紙を青の用紙を使用させ

ていただきます。

それに伴い檀家の皆様に

は**手数料のご負担**をお願

い致します。何卒ご理解

ご協力よろしく願ひし

ます。

お知らせ

◎声明講習

三月九日(火)

四月九日(金)

五月十日(月)

又、二十五日の婦人会定

例法座の前にも講習を致し
ます。

いずれも十一時よりで、

費用は無料・昼食持参でお

願ひします。

終了後定例法座にお参り

下さい。

※三月二十五の婦人会定

例法座がお休みの為、声明

講習もお休みです。

編集後記

子供達はお家時間が長く

なったので色々な事にチャ

レンジしています。次男は

バスケットを始めました。今年

こそはコロナ禍が収束する
といいですね。



令和3年3月5日発行

「慧林寺便り」第112号

札幌市豊平区豊平4条8丁目1-2

浄土真宗東本願寺派

慧 林 寺

発行人住職 羽 部 大 仁

電 話 811・7624番

FAX 811・2828番

振 替 027017148368

ホームページ <http://erinjin.net>

E-Mail info@erinjin.net